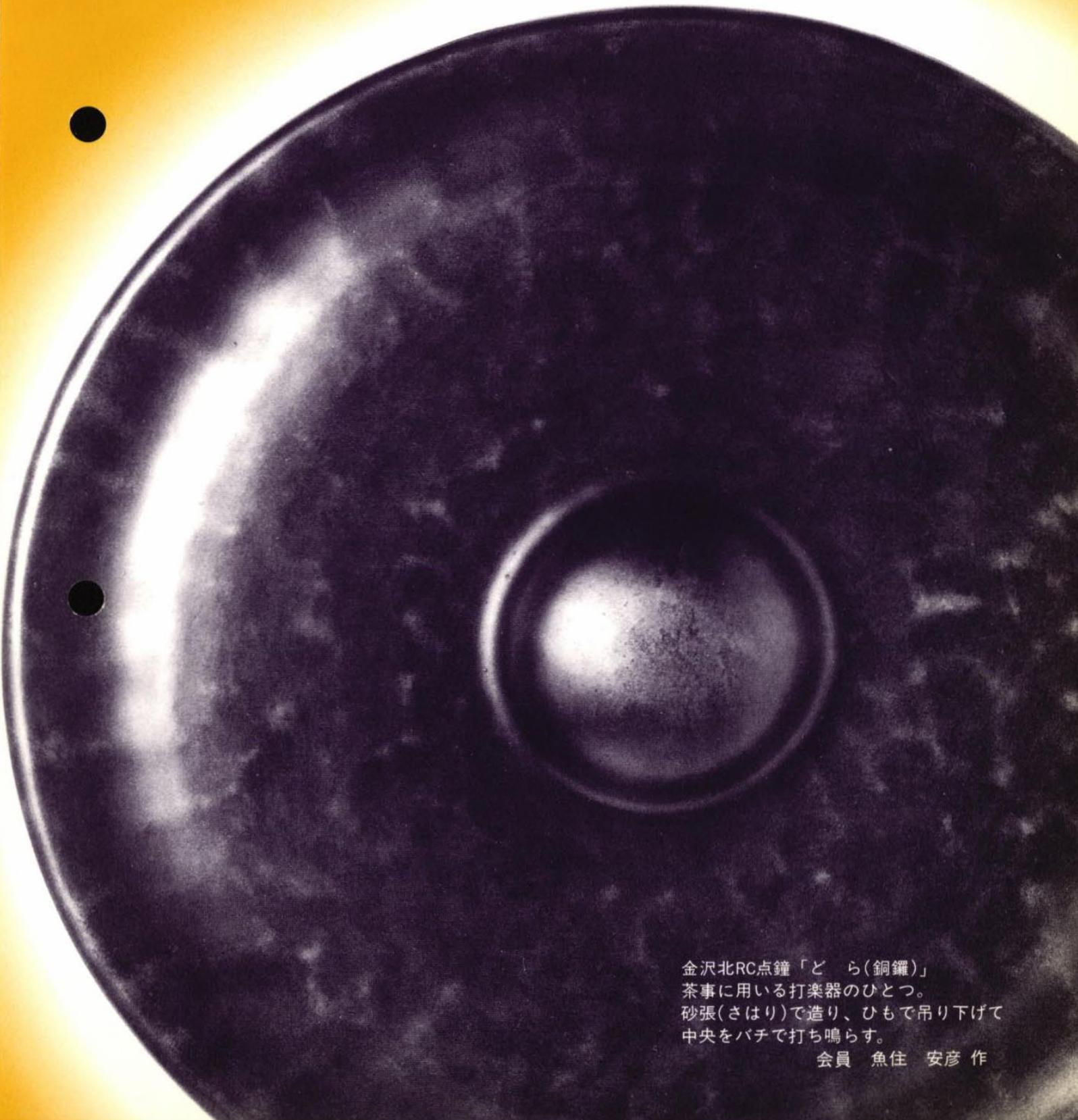


金澤北ロータリークラブ



金沢北RC点鐘「どら(銅鑼)」
茶事に用いる打楽器のひとつ。
砂張(さはり)で造り、ひもで吊り下げて
中央をバチで打ち鳴らす。

会員 魚住 安彦 作

名乗りを上げる

尾山台高等学校校長 菅原俊軌



皆さんがお葬式などにいらっしゃって手を合わせる時、自然にお念仏やお題目を唱えたりします。大きな声でなくとも、ボソボソと何かを唱えたりするものです。その心理構造について明らかにしたいと思います。

私は、明かりさえあれば、ものに名前はいらないのではないかと考えております。例えば、「コップ」と言わなくても、「これ」と言っただけで、それがコップだと分かります。「校長」と言わなくても「あなた」と言って目と目を合わせれば良いのです。代名詞で通用するのですから、名乗りを上げる必要もないということになります。

南無阿弥陀仏という仏教のお名前を「名号」と言っております。「名」を分解すると「夕」と「口」になります。夕暮れの暗闇の時に己を表すものは口しかないということです。「号」の下の部分は、本来真っ直ぐに伸びようとしているのを塞ぐものがあるので、それを押し曲げてでも叫ぼう、という意味なのです。真っ暗なところでも生き抜いていく力を私たちは求めている。そこに宗教が存在する理由があるのです。

「名乗りを上げる」という行いに対して、呼ぶ人に向かって同じ言葉を返すという行いもあります。門徒の人と善光寺に行った時に、漆黒の闇の中で「輪番さんおるか?」と呼びかけられて、他の人も多くてざわめいていたので、「輪番は此処におるぞ!」と応えなくてはならなかったことがあります。また、「菅原先生ですか」といわれれば、「菅原でございます」と答えます。「名乗り」という行為には「我こそは何の某である」という「名乗り」と、呼ばれて「名乗る」という二通りがあるのです。

人間の世界から「まこと」に至る道は真っ暗闇で、その闇の中をできるだけ真っ直ぐに踏み外すことなく歩いていくのは大変です。しかし、ただ一つ、自分の名乗りに応じてくれるだけで良いという、「南無阿弥陀仏は此処におるぞ」との仏の世界からの呼びかけが我々のところに至り届いています。それに対して、我々は知らず知らずの内に「南無阿弥陀仏」というお念仏を唱えるのです。

23周年のおめでたい席に抹香臭いお話になりましたが、人間にとって最もおめでたいのは闇の中から光り輝く世界へと眼を転じさせて頂くことなのです。23周年のおめでたい席にお招き頂きまして感謝しております。

「米山記念奨学会 No.1」

96"/97"米山担当 渡 邊 聰

ロータリープログラムの中に、日本のロータリーが世界に誇る「米山記念奨学会」が有ります。2610地区の我々は普通寄付金として、毎年・二千元をクラブ会費の納付時に徴収し米山記念奨学会へ送金しています。また、特別寄付金として「個人は三十万円・法人は三十五万円」の寄付を呼びかけ、全国のロータリアンから多額の奉仕寄付を募り、多くの国の留学生達のために役立てており感謝されながら国際親善と国際理解に寄与し、日本理解ならびに国際貢献の一翼を担っております。

しかし乍ら、意外にも今日までロータリアンの多くには、その実態を知らされていなかったように思います。そこで、1995(平成7)年度の事業報告を参考に「米山記念奨学会」の事を学び、会員各位の理解のもとに今後とも一層のご支援ご協力をお願いしたいと思います。

1995(平成7)年度・収支決算報告書(1995.7.1~1996.6.30)

科 目		決 算 額	科 目		決 算 額
収 入 の 部	1. 普通寄付金	498,902,980	支 出 の 部	11. 奨学生関係費	1,867,160,000
	2. 特別寄付金	1,560,393,674			
		(2,059,296,654)			
	3. 利子収入	276,284,809		12. 事務関係費	208,036,326
	4. 公社債償還益	4,750,000			
	5. 雑収入	100,000			
	(当期収入合計額)	(2,340,628,963)		(当期支出合計額)	(1,994,397,432)
6. 前年度繰越金	169,911,365	次年度繰越	516,142,896		
★ 合 計	(2,510,540,328)	★ 合 計	(2,510,540,328)		

☆「奨学金の種類と奨学金」

種 類	奨学金 (月額)	奨学期間	学 生 数
Y(米山奨学金)	YU(学部生)	12万円	2ヶ年以内 年度地区割当
	YMD(大学院)	15万円	2ヶ年以内 年度地区割当
CY(クラブ米山奨学金)	CY(世話クラブが半額負担)	15万円	6ヶ月または12ヶ月 YMD・DisY・Bより世話クラブの希望
DisY(地区米山奨学金)	DisY-A	12万円	2ヶ年以内 各地区・一律1名
	DisY-B	15万円	2ヶ年以内 年度地区割当数の15%以内
SY(特別米山奨学金・短期) (元米山奨学生・博士号取得者)	YS-1	12万円	1ヶ年以内 常務理事会決定
	YS-OB	22万円	2ヶ月以上6ヶ月以内 10名程度
日本研究上級研究員・博士号取得者	SY-J	25万円	6ヶ月~12ヶ月 (試行)常務理事会決定

上記の外に、地区米山奨学生の活動費や選考試験費等が補助として支給されます。

